平成30年度美術刀剣製作技術保存研修会

職 技 能 訓 練 講 習会の 部 実 施 報 告

32回目を迎えました。 刀剣博物館での標記講習会も、 「刀剣の里」として名高い備前長船 本年で

ようになり、十年以上が経過しました。 いた本講習会を長船博物館で開催する 大阪の摂津技能センターで行われて

> の二部門同時開催で行いました。講習 の模様を以下にご報告します。 講習会は、本年も柄下地・刀装金具

刀装金具の部が「目貫下地の基礎技法

本年行われた、平成時代最後の講習会

テーマは柄下地が「鮫の手入れ方法」、

でした。

が挙行されています。 講習会の四日間制は、中二日を十分 6月26日の講習会初日には、

数精鋭での技術習得に励んでいました。 例年通りの実践重視の方針の下、 開講式

> げています。 事では習得しきれない情報を短期集中 講師とのほぼ完全なマンツーマン形式 で得られ、技倆向上に大いに効果を上 での指導は、 な講習時間に充てることが出来ます。 受講生にとり、 日常の仕

おのおの切磋琢磨し、よりよい作品を 外の収穫があったといえるでしょう。 らに目立ってきました。そして若手は のみならず、近年では若手の参加がさ とのない技術を披露し、講習生には望 演とともに、普段はなかなか見せるこ ここ数年の刀剣ブームでの女性参加



開講式

柄下地の部 実習



刀装金具の部 宮本講師代行

実際、本年の柄下地では、 講師の実



閉講式



刀装金具の部 実習

るといえるでしょう。ここは、

ものつ

本を学ぶ場としての機能も備わってい

位置づけのみならず、

ものつくりの基

本講習会は、刀職への入口としての

を包んでいました。

溢としており、そのような熱気が会場

した。 舎を提供していただいた「西大寺グラ 変ご多忙の中、熱心なご指導を賜りま ンドホテル」の皆様、講習会の実施に した。また例年通りの破格の条件で宿 講師の先生方におかれましては、大

> 備前長船刀剣博物館の職員の方々には、 あたり、数々のお骨折りをいただいた

この場をお借りして御礼申し上げます。

自 平成30年6月26日(火)

柄巻師 坂入眞之

〈刀装金具の部

講師代行 白銀師 宮本恒之

(柄下地の部・6名)

富山県

大阪府

愛知県 千葉県 平山直弥 伊藤俊克 実施日

至 平成30年6月29日(金)

講

学んでいく場としたいと思います。 くりを進めていく上での基本的思考も

最終日の6月29日には閉講式が行わ

各講習生に受講証書が手交されま

〈柄下地の部〉

受講者

五十嵐真里亜

泉本哲弥

作り、

コンクールに挑戦する姿勢が横

〈刀装金具の部

· 14 名

岐阜県

山田真也

奈良県

山本

均

富山県 五十嵐結

兵庫県 石川雄司

岡山県 京都府 岡山県 上野宏樹 伊藤桂子 片山重恒

福岡県 東京都 太佐誠治 武田典明 山形県

上林真穂

大阪府 山口県 中山恒久 岡山県

時枝佳代

東京都 本間俊次 野口裕弘

愛媛県 広島県 村上弘賢 三島幹則

平成30年度美術刀剣製作技術保存研修会

刀剣研磨・外装技術研修会ならびに鍛冶研ぎ研修会開催

を迎え、本年もつつがなく開催されま 冶研ぎ研修会の受講生は以下の参加者 刀剣研磨外装技術研修会ならびに鍛 研磨の部 は以下のとおりです。 ◎特別研修生 (3名)

した。研修テーマをはじめとする詳細

東京都 (13名) 「下地研ぎ」 林 義仁

> ○研修生 ロシア (3名) セルゲイ・

群馬県

細村

正勝

鳥取県 柏木 良 セメンチェ



研磨の部 河本講師



研磨の部講評 篠崎講師



鍛冶研ぎの部 宮入講師

鍛冶研ぎの部 (2名) 兵庫県 栃木県 青森県 群馬県 長野県 神奈川県 千葉県 (7 名) 米倉 法城寺澄鐵 二唐奈夫樹 田中賢治郎 晴義

○研修生

(1 名) 今野

> 千葉県 福岡県

平 山

久保謙太郎

神奈川県

矢倉

聡一

山 田

真也

宮城県

掻き入れと仕上げの基礎技法

◇聴講生

(5名)

ロシア 岐阜県

セルゲイ・セメンチェク

白鞘の部

埼玉県

山口

秀雄

◇聴講生

(1名)

柄前の部

| 柄巻の基礎技法

◎特別研修生 (1名) 「鍛冶研ぎの基礎技法」

東京都

石丸 栄太

(6名)

埼玉県 新潟県 新潟県 群馬県 松森 高橋 北場 佐久間保男 信也 勝広



研磨・鍛冶研ぎの部 閉講式

研磨の 柄 鍛冶研ぎの部 えしました。 I鞘の 前 の 各部門の講師には左記の方々をお迎 部 久保 廣井 宮入 河本 篠崎 法廣 章久

講師補助

飯山

京都府 東京都 東京都 兵庫県 神奈川県 神奈川県 神奈川県 上野 中村 佐藤 石川 法城寺澄鐵 岡村明日香 晋也 宏樹 雄司 周

白銀の部 ◇聴講生(8名) ◎特別研修生(1名) 鋼製作の基礎技法・金着の基礎技法 東京都 神奈川県 (9名) 池田 武田 典明

◎特別研修生(1名)

○研修生

奥原勁士朗

拶し、本研修会は公益財団法人として 30分から行われ、柴原勤専務理事が挨





白鞘の部 廣井講師



柄前の部 久保講師



柄前の部 飯山講師補助



白銀の部 宮本講師補助

白 銀 講師補助 の 部 羽川

会は、 を設定しました。会場は刀剣博物館の 双方とも三日間ずつ行いました。 ぎの部」、後半を「外装の部」として から4日(土)までを後半として、これ (水)までを前半として行い、 階講堂を使用しました。 日程は7月30日(月)から8月1日 両国の新博物館で行われる初の研修 開講式は、それぞれ初日の午前9時 本年も前半は 「刀剣研磨鍛冶研 2日(木)

くし、 例となっています。 した。また、女性と外国人の姿も、 講師から、多くの情報を吸収していま となり、普段は接することのできない 従来よりも少数精鋭の方針をより厳し て欲しいこと、 両国で初の開催となる本研修会は、 研修生は、 非常に密度の濃い内容となりま などが話されました。 気の抜けない三日間 恒

> 熱気を帯びた体験となったようです。 ますます高まっており、 ました。来日外国人の刀剣への興味は 訳協会による両部門の見学会も行われ 例年のように、社団法人日本観光 通訳の方々も

はあっても、この時間を精一杯活かし

いこと、三日間という短期集中の場で

段は学べない多くのことを学んで欲し

した講師はその道の一人者であり、 の重要な事業であること。また、

招聘

講評として話されました。 なによりも研修成果をコン 外装の部は柴原専務 研磨の部 修了証

来年以降も、少数精鋭の方針は強く

クールで発表することの重要さなどが 方からは、 書授与がありました。また講師の先生 理事による挨拶及び受講証書・ は飯田事務局長、 午後2時から行われました。 閉講式は、 それぞれ部門の最終日、



外装の部閉講式

去る8月4日



白銀の部講評 羽川講師

げます。

研修会を続けていきたいと思います。

研修修了証書が授与されました。 は以下の方々で、特別研修修了証書・ ○研修修了者 ◎特別研修修了者 白銀の部 柄前の部 武田 奥原勁士朗 典明

柄前の部 研磨の部 柏木 佐藤 セルゲイ・セメンチェク 秀明 良

墨田区協力要請事業

納

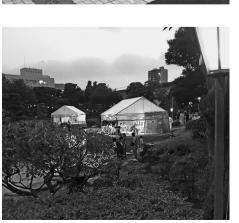
涼

の 夕

をしてイベントの開始を告げました。 ど、各種イベントに協力いたしました。 また4日・5日の両日共、安田庭園内 者は無料で見学することができました。 と柄巻師の飯山隆司氏の実演見学会を 館前から安田庭園までの歩道に打ち水 は博物館の地下に貯水している雨水を 「打ち水イベント」があり、当協会で 刀剣博物館講堂では、4日の16時30 初日の開始前16時からは、猛暑の中 おふたりのご協力により、 墨田区長山本亨様とともに国技 柴原専務理事ほか職員3名が 白銀師の宮本恒之氏

時30分まで)が開催されました。 応え、博物館の開館時間を延長するな 当協会も主催者側からの協力要請に 刀剣博物館が隣接する旧安田庭園 墨田区とすみだ観光協会主催によ 「納涼の夕べ」(16時30分から20 (土)・5日 日 日)の二日







だきました。衷心より厚く御礼申し上 な参加資格の元、密度の濃い内容ある 維持してまいります。これからも厳格 な気候の中、大変熱心なご指導をいた 講師の先生方には、ご多忙と不安定 本年度の三年間の研修修了者 参加、 賑わっていました。 提供し、 には茶席が設けられ、 分から20時まで、 刀剣博物館1階カフェスペース 訪れる来館者で